

# 鋼 船 規 則

## 鋼 船 規 則 検 査 要 領

CS 編

小型鋼船の船体構造及び  
船体艤装

鋼船規則 CS 編  
鋼船規則検査要領 CS 編

2014 年 第 2 回 一部改正  
2014 年 第 2 回 一部改正

2014 年 6 月 30 日 規則 第 50 号／達 第 36 号

2014 年 2 月 4 日 技術委員会 審議

2014 年 2 月 24 日 理事会 承認

2014 年 6 月 26 日 国土交通大臣 認可

# ClassNK

一般財団法人 日本海事協会

# 鋼船規則

規  
則

CS 編

小型鋼船の船体構造及び船体艤装

2014 年 第 2 回 一部改正

2014 年 6 月 30 日 規則 第 50 号

2014 年 2 月 4 日 技術委員会 審議

2014 年 2 月 24 日 理事会 承認

2014 年 6 月 26 日 国土交通大臣 認可

2014 年 6 月 30 日 規則 第 50 号  
鋼船規則の一部を改正する規則

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

## CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艤装

### 1 章 通則

#### 1.3 材料，溶接及び構造等に関する通則

表 CS1.1 を次のように改める。

表 CS1.1 各構造部材に対する軟鋼材の使用区分

部材名称		適用範囲	厚さ (mm)					
			15 以下	15 を超 え 20 以 下	20 を超 え 25 以 下	25 を超 え 30 以 下	30 を超 え 40 以 下	40 を超 え 50 以 下
外板	強力甲板の 舷側厚板	(省略)						
	船側外板							
	ビルジ外板							
	船底外板 (平板竜骨を 含む)							
甲板	強力甲板の 梁上側板	(省略)						
	強力甲板の縦通隔 壁板に隣接する 一条							
	強力甲板の貨物倉 口隅部							
	上記を除く強力 甲板							
	暴露甲板等							
縦通 隔壁板	強力甲板に隣接 する一条	(省略)						
	船底外板に隣接 する一条							
縦通材	トップサイドタン クの斜板の強力甲 板に隣接する一条	中央部 0.4L 間	A	B	D	E		
	強力甲板上の 縦通板部材 (縦通桁部材の端 部肘板・面材を含 む)	中央部 0.4L 間	A	B	D	E		

表 CS1.1 各構造部材に対する軟鋼材の使用区分（続き）

部材名称		適用範囲	厚さ (mm)					
			15 以下	15 を超 え 20 以 下	20 を超 え 25 以 下	25 を超 え 30 以 下	30 を超 え 40 以 下	40 を超 え 50 以 下
倉 口	貨物倉口縁材の面材及びウェブ	強力甲板上を縦通し、長さ が 0.15L を超えるもの倉口 縁材（頂板及びそのフラン ジは含むが、その他の防撓 材は含まない）で、中央部 0.4L 間	A		B	D		E
	倉口蓋	—						
船 尾 部	スタンフレーム ラダーホーン シャフトブラケッ ト	(省略)						
舵	舵板							
そ の 他	上記以外の構造部材（防撓材を含む）及び上記 適用範囲以外の箇所に使用する部材		A					

（備考）

1. A, B, D, E は、下記の材料記号を示す。

A : KA    B : KB    D : KD    E : KE

2. 船舶の縦通隔壁板に隣接する強力甲板のうち、二重船側部の縦通隔壁に隣接する条板が、梁上側板の一条と異なる場合、  
当該条板は、通常の強力甲板として適用して差し支えない。

表 CS1.2 を次のように改める。

表 CS1.2 各構造部材に対する高張力鋼材の使用区分

部材名称		適用範囲	厚さ (mm)					
			15 以下	15 を超 え 20 以 下	20 を超 え 25 以 下	25 を超 え 30 以 下	30 を超 え 40 以 下	40 を超 え 50 以 下
外板	強力甲板の 舷側厚板	(省略)						
	船側外板							
	ビルジ外板							
	船底外板 (平板竜骨を 含む)							
甲板	強力甲板の 梁上側板	(省略)						
	強力甲板の縦通隔 壁板に隣接する 一条							
	強力甲板の 貨物倉口隅部							
	上記を除く 強力甲板							
	暴露甲板等							
縦通 隔壁板	強力甲板に隣接 する一条	(省略)						
	船底外板に隣接 する一条							
縦通材	トップサイドタン クの斜板の強力甲 板に隣接する一条	中央部 0.4L 間	AH			DH		EH
	強力甲板上の 縦通板部材 (縦通桁部材の端 部肘板・面材を含 む)	中央部 0.4L 間	AH			DH		EH

表 CS1.2 各構造部材に対する高張力鋼材の使用区分（続き）

部材名称		適用範囲	厚さ (mm)					
			15 以下	15 を超 え 20 以 下	20 を超 え 25 以 下	25 を超 え 30 以 下	30 を超 え 40 以 下	40 を超 え 50 以 下
倉口	貨物倉口縁材の <del>面材及びウェブ</del>	強力甲板上を縦通し、長さ が 0.15L を超えるもの倉口 縁材（頂板及びそのフラン ジは含むが、その他の防撓 材は含まない）で、中央部 0.4L 間	AH			DH		EH
	倉口蓋	—	AH					DH
船尾材	スタンフレーム ラダーホーン シャフトブラケッ ト	(省略)						
舵	舵板							
その他	上記以外の構造部材（防撓材を含む）及び上記 適用範囲以外の箇所に使用する部材		AH					

（備考）

1. ~~表 CS1.1 中の A, B, D, E~~ 及び ~~表 CS1.2 中の AH, DH, EH~~ は、下記の材料記号を示す。

~~A: KA B: KB D: KD E: KE~~

AH: KA32, KA36 及び KA40

DH: KD32, KD36 及び KD40

EH: KE32, KE36 及び KE40

2. 船舶の縦通隔壁板に隣接する強力甲板のうち、二重船側部の縦通隔壁に隣接する条板が、梁上側板の一条と異なる場合、当該条板は、通常の強力甲板として適用して差し支えない。

## 附 則

1. この規則は、2014年7月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約\*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

\* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

### IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

#### 英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
  - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
  - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

#### 仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
  - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
  - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

1. 本 PR は、2009年7月1日から適用する。

# 鋼船規則検査要領

CS 編

小型鋼船の船体構造及び船体艀装

要  
領

2014 年 第 2 回 一部改正

2014 年 6 月 30 日 達 第 36 号

2014 年 2 月 4 日 技術委員会 審議

2014 年 6 月 30 日 達 第 36 号  
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

## CS 編 小型鋼船の船体構造及び船体艤装

### 付録 1 検査要領 C 編の準用

表 CS 中、  
「

21.6.7	C23.6.7[注 25]
--------	---------------

」

の下に

「

21.6.8	C23.6.8
--------	---------

」

を加える。

## 附 則

1. この達は、2014年7月1日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約\*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

\* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

### IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

#### 英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
  - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
  - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

#### 仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
  - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
  - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。

オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから1年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。

3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

1. 本 PR は、2009年7月1日から適用する。